

平成二十三年八月吉日

一般社団法人愛知県臨床工学技士会
会長 日比谷 信 殿

日本血液浄化技術学会

理事長 山家 敏彦

(社会保険中央総合病院 臨床工学部)

第39回日本血液浄化技術学会学術大会 大会長 岩本ひとみ

(天神会古賀病院21 臨床工学部)



ご後援のお願い

日頃より日本血液浄化技術学会へのご協力、ご指導をいただき感謝申し上げます。

去る3月の東日本大震災により被災されました皆様に心よりお見舞い、お悔やみを申し上げます。日本全土がこれまでに経験したことがない混乱状態に陥り、医療関係者の皆様も大変なご苦勞をされ、復旧に取り組んでおられます。その惜しみないご努力に心より敬意を表します。

さて、第39回日本血液浄化技術学会学術大会・総会を平成24年4月21日(土)、22日(日)の2日間に渡り、福岡県福岡市(都久志会館・福岡ガーデンパレスを会場)にて開催する運びとなりました。

当会は平成20年度に日本血液浄化技術学会へと改称し、学術大会は元より血液透析技術基礎セミナーや血液浄化工学セミナーを開催し、血液透析分野を中心とする日常臨床に根ざした学術団体として活動して参りました。

血液浄化分野は日進月歩であり、日々新しい技術や治療法、評価法が勘案され実用化されております。ここ数年の診療報酬改定を振り返りますと、医療機器安全管理料や透析液水質確保加算などが新規に算定の対象となり、臨床工学技士業務が医療の現場で不可欠なものとの認識がされるようになりました。また、看護業務の中では血液透析患者の合併症に対する処置が重要視されており、いずれの分野におきましても、その知識や方法のみならず、患者に対する総合的配慮、スタッフの基礎的技術の向上、マンパワーの有効活用を医療従事者それぞれが身につける時期にきております。

そこで、今回のメインテーマを「透析医療の心・技・体を学ぶ」とし、血液浄化の分野で活躍している臨床工学技士や看護師の新人からベテランの方々が一堂に会し、臨床の場で明日からでも実行できる内容を議論し、技術を習得できる会にしたいと考えております。

本学会は、改称以前より行われてきた学術大会の他、関東や関西での基礎セミナー、全国各地におけるビデオセミナーなどを積極的に行ってまいりました。特に基礎セミナーは、数年前より受付開始後数日で予約が埋まるほど受講希望者が殺到する状況にあります。これは血液浄化領域に従事するスタッフの向上心がいかに大きいものであるかを象徴しております。学会改称後は、福岡のみならず九州の地で本学会学術大会を開催しますことは初の試みであり、多くの関係各位にご迷惑をおかけするとは思いますが、血液透析のチーム医療発展に直結した機会となれば幸いです。

本学会の開催趣旨をご理解の上、ご後援いただけますようお願い申し上げます。

